

伯耆町は、平成17年2月に「伯耆町行政改革大綱2005」と、平成17年度から平成21年度までの5年間の実施計画「伯耆町集中改革プラン2005」を策定し、伯耆町のまちづくりのために行政改革を進めています。

# 住民目線で進める

## 行政改革



▲区長協議会を新たに設置

**改革課題ごとの  
主な取組状況**  
【平成20年10月】

### 一、住民との協働の推進

住民自治を拡充し、住民が主役となるまちづくりを進めます。

▼住民公募による伯耆町シンボル選定委員会を開催し、町民憲章、町の木・花の選定を行い、町の木は「キャラボク」町の花は「菜の花」に決まりました。

▼合併以来の懸案だった町内自治会を統括する区長協議会を新たに設立しました。

協議会の活動として、7月に「伯耆町美化の日」を設け町全域で清掃活動に取り組んだほか、9月には「伯耆町防災の日」を定め、各自治会で避難訓練などを実施しました。



▲防災の日(文化センター)

▼ほうきまちづくり塾を継続開催し、協働のまちづくりを担う地域リーダーの育成に努めています。

▼住民への積極的な情報の提供と公開のため、庁内情報化検討委員会を設け、地域情報化計画の素案を作成し、検討しています。

▼町の施策に住民の意見を反映できるように、住民意見公募（パブリックコメント）制度の実施要綱を策定しました。

▼地域の特色を活かしたまちづくりを行うため日光・二部地区に地域振興担当職員を配置し、住民活動を支援しています。